グローバルリスク研究院博士後期課程の教育理念・目標

グローバルリスク研究院は，核の使用リスクや地球環境破壊，パンデミックなど人類の存続に影響しうる地球規模のリスクについての学際的研究を推進し，国際社会へのさまざまな提言と共に，次世代の研究者を含む実務家，政策立案能力を有する専門家，国際社会におけるリーダーを育成することを目的とする。

グローバルリスク研究院のディプロマ・ポリシー（DP）

修了要件

必要な単位を修得し，政策提案等をテーマとして博士学位申請論文（プロジェクト論文）を作成して最終試験に合格することを要件とする。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究院の学位（博士（学術））は，グローバルリスク領域における高度専門職業人として，エビデンスに基づく問題解決策を提言し，強いリーダーシップにより対策を実行し，結果を客観評価し，複合化するグローバルリスクの問題解決に貢献できる人材に授与されることとし，以下の能力を有した者に授与することとしている。

1．グローバルリスクに関する政策の立案・実行及び評価計画を作成することができる。
2．グローバルリスクに関する政策の関係者（ステークホルダー）間の科学的コミュニケーションの手法に基づき問題解決のための組織を構築することができる。
3．グローバルリスクに関する政策の運営に必要な事項を説明することができる。
4．過去から，現在，そして将来のグローバルリスクに関する構想と政策について,その背景，目的，運営方法を説明することができる。

グローバルリスク研究院のカリキュラム・ポリシー（CP）

グローバルリスクに関する政策立案や計画の実行，評価に必要な知識やスキルを修得する。

1．プラネタリーヘルスの概要の理解
　1）人類の健康と文明，地球自然環境の関連性についての知識
　2）プラネタリーヘルスがグローバルリスクに関連する政策全般に与える示唆の理解
2．グローバルリスクに関する政策の立案・実行・評価に必要な洞察力や分析スキルの修得
　1）政策過程や実装科学の理論的な理解
　2）グローバルリスクの分析と提言能力
　3）政策立案・評価に使われるデータ分析法の理解
3．リーダーシップ・マネジメントに関するスキルの修得
　1）組織マネジメント能力
　2）交渉・コミュニケーション能力
　3）グローバルガバナンスに関する知識
4．プロジェクト演習
　1）グローバルリスクに関する政策に関わるプロジェクトを提案し，実行する能力
　2）博士論文を執筆する能力

学修の到達度は，レポート及び筆記試験，論文の質やプレゼンテーション，ディスカッションを通じて評価する。

科目に関する別表

科目等 / 資質等		プラネタリーヘルス	政策とシステム	データと分析	リーダーシップとマネジメント	実習科目
主として養われる資質	プラネタリーヘルスの概要の理解	・プラネタリーヘルス特論				
	グローバルリスクに関する政策の立案・実行・評価に必要な洞察力や分析スキルの修得		・実装科学特論 ・政策課程特論	・量的政策評価法		
	リーダーシップ・マネジメントに関するスキルの修得				・組織マネジメント特論 ・渉外マネジメント特論 ・グローバルガバナンス特論	
	プロジェクト演習					・実務研修 ・プロジェクト

グローバルリスク研究院のアドミッション・ポリシー（AP）

入学者に，以下の資質・素養を求める。

1．関連分野＊において研究・実践能力を修得するために必要な基礎知識及び技術，論理的な思考力を有する。
2．課題解決に向けてリーダーシップを発揮できる素養，協調性，コミュニケーション能力を備えており，複合化したグローバルリスク問題の解決に貢献しようとする向学心を有する。
3．複合化したグローバルリスクを考慮した政策の形成や実践を前進させることに強い意欲及び明確なビジョンを有する。

（＊）関連分野として，自然環境，社会開発，平和構築，国際協力，公共政策，組織経営，保健医療，健康科学など幅広い分野を考慮する。

選抜方法に関する別表
（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重：○））

求める資質 / 入試区分		基礎知識 技術 論理的思考	リーダーシップ 協調性 コミュニケーション能力	モチベーション 明確なビジョン
一般入試	出願書類 志望理由書	◎	○	◎
	外国語 検定試験	○		
	面接	○	◎	